



## 会設立からの歩み

### 32 平成16年度総会が開かれる

4月9日、能代市中央公民館で総会が開かれ、平成15年度の報告と決算書を承認し、今年度の事業計画と予算案を審議した。6月に行われる「風の松原を守る市民ボランティア大会」は、



「風の松原に守られる人」昨年、商工会議所主管から事務局機能を能代市が受け継ぎ、「風の松原ボランティア協議会」主催に移行される見

総会での田中芳夫議長のあいさつ通しが話された。当会としても全面的に協力することになり、6月の事業計画の中に盛り込まれた。

### 33 風の松原バードウォッチング

5月1日、早朝6時から1時間30分かけて風の松原のバードウォッチングを行った。20人が参加し、すがすがしい



こもれ日の中で野鳥のさえずりを楽しみ、姿を探した。トリムランニングコースの探鳥では、早くも夏鳥の姿が見え、頭から羽にかけて美しい瑠璃色をしたオオルリがいた。まさに「幸せの青い鳥」である。また、黄色い胸を張り、軽やかにさえずるキビタキも観察できた。

オオルリ (図鑑から)

さえずりで野鳥の判別ができるようになりたいものだ。

鳥の姿が枝に隠れてなかなか見えない風の松原では、事前にさえずりのCDなどを聴いて学習しておく、バードウォッチングはさらに楽しくなるし、癒しにつながる。

風の松原で野鳥のさえずりを聴きながら、毎朝の散策ができたら幸せだろうなと感じた研修会であった。



キビタキ (図鑑から)

### 34 いこいの広場周辺

#### スギ林の灌木を除去

5月19日、昨年に引き続き、今年も「いこいの広場」のスギ林を整備した。やぶになっている灌木を除去する作業に23名が参加し、心地よい汗を流した。

9時30分から2時間の作業であったが、終わってみると林間にさわやかな風が通るようになり、すっきりした。参加者の一人の菊池



スギ林の灌木除去に汗を流す

孝志さんは「能代市民のいこいの場である松原の保全に協力できて喜んでいる。灌木が除去されて林が生き生きとしてきたようだ」と話していた。

散策で通り過ぎる人々もねぎらいの言葉をかけてくれたりして有意義な2時間であった。

### 35 風の松原の土壌調査と観察会

6月14日、前日の「風の松原を守るボランティア大会」に参加するために来能した伊藤忠夫元静岡大学教授を講師にして、風の松原の土壌観察会を開いた。

参加者は21名で午前9時から正午を目安にして、最初に伊藤先生の持参した資料に基づく説明を受けた。次に海岸に近い若い松林といこいの広場周辺のやぶの



自ら砂地を掘って説明する伊藤元教授2か所で、調査方法を確認しながら土壌観察を行った。

風の松原は、松くい虫の侵入の他に広葉樹の侵入により危機にさらされている。広葉樹の侵入の原因の一つに土壌の富栄養化したことがある。土壌の変化に伴い、植生も変わり、広葉樹林になり、クロマツの細根に取り付くキノコの菌根も変化するという。松林の保全には、砂地の管理も必要であることを痛感した。



## 36 松原保全に1,000人集合

### 風の松原を守る市民ボランティア大会

5月13日、今年から「風の松原ボランティア協議会」(梅田市美会長)主催になった風の松原を守る市民ボランティア大会が開かれた。

この日は青空が広がり、高校生や一般市民、親子づれや各種団体会員ら約1,000人が参加し、マツノマダラカミキリの幼虫がいる可能性のある松の枯れ枝を搬出したり、ごみの収集に汗を流した。

参加者は、第1ブロックの国有林トリムランニングコース、第2ブロックの国有林船泊まり周辺、第3ブロックの県有林風力発電所東側の3か所に分かれて作業に取り組んだ。

このうち、第1ブロックでは市営陸上競技場前の広場で開会式を行い、梅田会長が「市民が風の松原に入ることは大変意味のあること。



開会式であいさつする梅田会長

作業の合い間をみてクロマツの木々と対話をし、声を聴いてマツの木のカウンセラーとして動いてほしい。」などと呼びかけた。

また、来賓の寺田秋田県知事、豊沢能代市長があいさつし、「白神山地に匹敵する自然をどうしても残したい。」「心を合わせて風の松原を守ろう。」と訴えた。



次代を担う中・高校生も多数参加

に踏み込んだ。松の枯れ枝が思ったより多く、特製担架がすぐいっぱいになった。トラック駐車場に搬出すると、4トン積みトラックが待機しており、約20台分の枯れ枝が処理先のバイオマス発電所に次々に移送された。

枝集め、ごみ拾いと心地よい汗を流しての作業の合い間に、たくましく空に伸びるクロマツを見上げると、能代市街地を松原が守ってきたこと知ることができる。

クロマツが日本海から吹き寄せる潮風と飛砂を防ぎ、耐えた年月は、幹を斜めに傾けた姿とその樹齢に刻み込んでいる。

作業概要説明の後、参加者はグループごとに防風ネットを利用した特製担架やごみ袋をかかえて松原の中

## 37 会の活動に奨励賞

### 全国森林病虫獣害防除協会から



7月29日、全国病虫獣害防除協会から平成16年度優良事例コンクール奨励賞の賞状と副賞が届いた。

これは秋田県の森づくり推進

課の推薦によるもので、当会の風の松原における松くい虫防除への取り組みが認められ、地域の森林資源保全への貢献がたたえられたものである。

副賞は、コンピュータ利用の録音機で、繰り返し使用ができ、CDによる音声の保存ができるものであり、研修会などにおける活用が期待できる。

## 38 松の根っこの掘り跡除草

8月3日・9日、鷲尾禮次郎さんと4名の会員が、サンウッド前の松根油を採取するための根掘り穴の除草を行った。

昨年、説明の看板を立てたが、草が生えて穴がよく見えなく、足を踏み外して落ちる危険もあるので自発的に除草を行う作業であった。看板には「風の松原のアリ地獄。この穴は、第二次世界大戦末期、ガソリン代わりの松根油を採るために、松の根っこを掘った跡です。苦しい時代を語ってくれる貴重な遺跡ですね。風の松原に守られる人々の会。」と書かれている。

### 平成16年度・後期事業計画

月日	内容	時間
9月22日(水)	県有林灌木除去作業	9:30~11:30 担当・整備部
9月24日(金)	県有林灌木除去作業	9:30~11:30 担当・整備部
12月 2日(木)	松くい虫被害調査	9:30~11:30 担当・パトロール部
12月15日(水)	国有林つる切り作業	9:30~11:30 担当・整備部
1月下旬	会報「松風」8号発行	担当・情報部
2月18日(金)	役員会(中央公民館)	13:30~16:00 担当・事務局
3月 3日(木)	松くい虫予防剤幹注入	10:00~11:30 担当・整備部
3月11日(金)	役員会(中央公民館)	13:30~16:00 担当・事務局